編集後記

2020 年から続く新型コロナウィルス感染症も 3 年が経過し、2023 年 1 月には国内感染者数 3000 万人を突破しました。現在、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されております。このような中、この新型コロナウィルス感染症が 2023 年 5 月に 2 類相当から 5 類へと移行する方針が決定し、季節性インフルエンザと同等な扱いとなることから、徐々にではあるものの、以前のような教育活動や研究活動が再開できるのではないかと期待しております。

この度、『研究論集』第 39 巻の発刊にあたり、より多くの先生方からの投稿をとの方針から、編集内規や投稿基準の見直しを行いました。その結果、投稿原稿 6 本、特集原稿 4 本、彙報原稿 5 本と一定の成果を上げることができました。次回は記念すべき第 40 巻を迎えます。分野領域の異なる 3 学部 4 学科での共通テーマを模索し、より一層、充実した論集になるように検討していきたいと考えております。

本誌発刊にあたり、執筆していただきました先生方、査読をお引き受けいただきました先生方、論集編集委員会の先生方、教学課温井課長および生駒様に心から感謝申し上げます。

（品川）

論集編集委員会

黒　坂　俊　昭（音楽学部）
沼　田　　　潤（人文学部）
永　井　　　毅（人間発達学部）
長谷川　精　一（共通教育センター）
品　川　英　朗（総合研究センター長）

令和５年３月５日　印刷
令和５年３月10日　発行　第39巻（通巻第74巻）

編　集　相愛大学研究論集編集委員会

発　行　相愛大学総合研究センター
大阪市住之江区南港中４丁目４番１
電話（06）6612-5904番

印　刷　協和印刷株式会社
京都市右京区西院清水町13
電話（075）312-4010番